

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		医療総合学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		臨床医学概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年	学期及び曜時限	前期	教室名	406
担 当 教 員		落合美枝・加藤智久	実務経験と その関連資格	出雲医療看護専門学校 教務部長、元看護師長 臨床工学技士として病院に勤務経験あり		
《授業科目における学習内容》						
医療の歴史を知り、現代医療の課題を学ぶ。 さらに臨床の場で実施される蘇生法と救急措置(一時救命、吸引、呼吸リハビリテーション)を学び、普通救命講習を終了する。						
《成績評価の方法と基準》						
1、定期試験または実技試験;80％ 2、平常点(授業態度・レポート):20％						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
新 医療秘書医学シリーズ 医療概論 建帛社						
《授業外における学習方法》						
資料を見直し、要点と手技を繰り返し復習する。						
《履修に当たっての留意点》						
患者の状態把握やリスク管理は非常に重要であり、必要な手技を正確に覚えること。						
授業の 方法			内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	医療の成り立ち、歴史について理解し説明できる		教科書 資料	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	古代医療の成り立ち・世界医療の歴史・日本医療の歴史 グループワーク			
第 2 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	日本の人口の推移と未来医療自分の考えを述べることができる		教科書 資料	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	日本の人口の推移と未来医療について グループワーク			
第 3 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	医学と医療の違い、医療秘書が把握べきものについて知ることが できる		教科書 資料	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	医学と医療の違い 医療秘書が把握べきもの グループワーク			
第 4 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	医療秘書が把握べきものについて自分の考えを述べることがで きる		教科書 資料	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	医療秘書が把握べきもの グループワーク			
第 5 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	病気の定義と分類～治療プライマリーケア、DPCについて知ること ができる		教科書 資料	事前に教科書を読んで おくこと
		各コマに おける 授業予定	病医療の実際 死と医療 グループワーク			

授業の方法			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	教科書 資料	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	教科書 資料	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	教科書 血圧計、パルスオキシメーター、聴診器	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	教科書	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	教科書	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	教科書	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	教科書	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	教科書	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	教科書、救命講習のシミュレーター	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	教科書、救命講習のシミュレーター	事前に教科書を読んでおくこと
		各コマにおける授業予定		